

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六）（公衆）〇四七二（二二）七〇七

国鉄「分割・民営化」反対！三里塚二期工事阻止！

3.27 総決起で 団結をしろ

鉄道労連解体、
強権的労務支配
粉碎。取場活動
の活性化をさかちそう

3.27 三里塚 一斉決起

すべての組合員のみなさん！
われわれの怒りははりさけんばかりである。「日本列島をひとつに結ぶダイヤ改正」「地域密着型の利便性と大幅なスピードアップ」などと大キャンペーンとは逆に、食事もトイレの時間もないようなすさまじい労働強化、さらには動労千葉・国労を狙いうちにした組織破壊・不当労働行為の横行。そしてまた始まっている「四・一JR一周年」の反動キャンペーン。
われわれは、腹の底からの怒りをもって、この「四・一分割・民営化」体制を打ち砕くために、起ちあがらなければならぬ。

「たたかわなければ殺される」

現在、千葉の営業職場では、「昼メンも、電話や客の対応に時間をとられまともに喰えない」「明けの日は夕方までタダ働きする」ということが当たり前になっている。また高崎では、鉄産労の組合員が集中的に狙われ、当局の脱退強要のために仕事をはずされ、脱退をことわると、その日の夕方には強制配転の事前通知が出されるなどの不当労働行為がくり返えされ、東京では「国労切り崩しがなまぬるい」ということで山手線ターミナル駅の駅長が左遷させられるということが行われている。
分割・民営化後、昨年十二月までの間に、鉄道労連の組合員を中心に二十名が自殺においこまれていた。理由は、「業務上のミスや職場のストレス」などである。「たたかわなければ殺される」まさにそのとおりだ。

三・二七総決起で動労千葉の団結を示しぬこう！

われわれは、「四・一」以降、これまで当局の不当な差別・選別、不当労働行為、強制配転とたたかい、賃金差別を受けながらも団結を守りぬいてきた。そのことよって、強制出向を完全にはね返し、当局の最大の狙いである動労千葉絶滅・解体・一掃の攻撃を打ち砕くばかりか、動労西日本の仲間の決起でたたかう動労総連合の隊列を強化してきたのである。つい数年前まで「わが世の春」を謳歌してきた国鉄労働運動は、分割・民営化攻撃によって谷底までたたきおとされた。これからは、その谷底からはい上がる時なのだ。当局―鉄道労連のなせるがままにしておいたら、谷底どころか地獄である。

三・二七三里塚に総決起し、動労千葉の団結をさし示そう。当局―鉄道労連に目にも言わせてやろう。

3.27 三里塚
現地集會
三里塚二期阻止
「4・一分割・民営化」
体制粉碎！
成田10時集會